

要 約

m-ニトロアニリンのオオミジンコ(*Daphnia magna*)による繁殖試験を実施した。

試験は、1試験区10頭を用い、5濃度区[設定濃度:1.00、0.500、0.250、0.125及び0.0625 mg/L(公比2.0)]及び対照区、暴露期間21日間、水温20±1℃、3回/週の頻度で試験液の全量を交換する半止水式で行った。

その結果、試験液中の被験物質濃度は、設定濃度に対して93.9～103%であった。試験結果は測定濃度の時間加重平均値(前述の設定濃度を測定濃度表示にした場合、0.998、0.499、0.246、0.122及び0.0617 mg/L)に基づいて算出した。

m-ニトロアニリンの21日間における親ミジンコの半数致死濃度(LC50)は>0.998 mg/L、50%繁殖阻害濃度(EC50)は0.359 mg/L、最小影響濃度(LOEC)は0.246 mg/L、最大無影響濃度(NOEC)は0.122 mg/Lであった。